

平成19年10月期 第3四半期財務・業績の概況

平成19年9月11日

上場会社名 アヲハタ株式会社 上場取引所 東証第2部
 コード番号 2830 URL <http://www.aohata.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)多智花 宏治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)豊 政 茂 TEL (0846) 26 - 0111

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年10月期第3四半期の連結業績(平成18年11月1日 ~ 平成19年7月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年10月期第3四半期	14,997	1.0	817	5.5	810	4.2	461	9.6
18年10月期第3四半期	15,148	0.3	775	4.6	777	5.0	421	14.2
18年10月期	20,149	-	863	-	868	-	462	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年10月期第3四半期	67.05		-	
18年10月期第3四半期	61.15		-	
18年10月期	67.15		-	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
19年10月期第3四半期	12,685		7,262		56.4	1,037	90	
18年10月期第3四半期	12,290		6,820		54.8	976	85	
18年10月期	11,782		6,858		57.5	982	53	

2. 平成19年10月期の連結業績予想(平成18年11月1日 ~ 平成19年10月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	19,900	1.2	860	0.4	850	2.1	450	2.7	65	31

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(参考) 個別業績の概況

1. 平成19年10月期第3四半期の個別業績 (平成18年11月1日 ~ 平成19年7月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年10月期第3四半期	13,117	2.2	314	20.8	386	16.9	251	4.8
18年10月期第3四半期	13,406	0.6	397	25.2	465	22.3	263	30.0
18年10月期	17,819	-	440	-	522	-	283	-

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年10月期第3四半期	36.45		-	
18年10月期第3四半期	38.27		-	
18年10月期	41.18		-	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
19年10月期第3四半期	11,368		5,716		50.3	829	73	
18年10月期第3四半期	10,733		5,529		51.5	802	58	
18年10月期	10,357		5,548		53.6	805	26	

2. 平成19年10月期の個別業績予想 (平成18年11月1日 ~ 平成19年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	17,400	2.4	350	20.5	430	17.7	240	15.4	34	83

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。

上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料の4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国の経済情勢は、雇用情勢の改善などに支えられて個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。当社グループにおきましては、原料・資材全般の値上がりによるコスト上昇が経営を圧迫する厳しい環境にありました。

このような中で、当社グループは食の安全・安心に対する要求度の高まりをチャンスと捉え、安定的で安全性の高い原料調達の強みを活かし、新商品開発および業務用・産業用のフルーツ加工市場への事業展開を積極的に進めました。

売上につきましては、ジャム類は「アヲハタ・55ブルーベリージャム」の値上げによる販売量減少などの影響もあり、前年同期を下回りました。産業用加工品類は原料調達の強みが評価され、順調に受注が進みました。利益につきましては、原資材の価格上昇等の影響を、高付加価値品へのシフトによる収支改善やグループを挙げた経費管理の徹底、操業効率の向上などにより吸収を図りました。

この結果、当第3四半期の売上高は149億97百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は8億17百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益は8億10百万円（前年同期比4.2%増）、四半期純利益は4億61百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

なお、当期の経営方針に掲げた項目ごとの取り組みの状況は次のとおりです。

(1) 開発力と営業力の強化による連結売上目標の達成

- 多様なチャネルへの対応を目的に開発体制の整備をおこない、商品企画の陣容強化と営業開発センターの新設などを実施いたしました。また、多品種小ロット専用工場にポーションラインの集約と製造の効率化を目的とした工事を進め、平成19年4月に稼働を開始いたしました。
- 家庭用では、主力の「アヲハタ・55ジャム」シリーズに「アップル&シナモンジャム（メープルシロップ・レーズン入り）」、「ダブルベリー&チェリージャム（ラズベリー・ストロベリー）」（平成19年8月発売：秋冬限定）といった期間限定商品を積極的に投入し、バラエティ化による需要拡大を進めるとともに、新たな取り組みとして健康機能性市場に向け、アクティブシニアをターゲットとしたヒアルロン酸や植物性ステロールを配合した商品の提案をおこないました。
- 産業用では、ユーザーに密着した商品開発を積極的に展開し、当社グループが長年にわたり取り組んできた産地での農薬管理、栽培指導、産地から加工場における一貫した管理体制の実績が評価され、特にフルーツ原料の販売が増加いたしました。

(2) 業務プロセスを見直し、競争優位性を高め、グループの経営コストの低減

- 当社グループの強みである原料調達機能の競争優位性を高めるため、原料調達から品質保証までの機能を整理し、組織の再編成をおこないました。また、原料調達から製品化までの全ての工程を見直し、トータルシステムとしての改善・改革を果たすため、現場密着型的手法を取り入れた自発的な改善活動（生産革新）を進めております。生産活動の日々の改善についても、歩留まりや能率の向上など継続的な取り組みの成果があらわれてきております。間接業務の効率化や業務品質の向上の面でも、意思決定や主要業務のプロセスの整理を進めました。

(3) CSR経営の推進

- CSRを経営の中心に据えて経営品質を継続的に高めていくため、担当部署の名称を社会・環境活動推進室からCSR推進室といたしました。グループ内部の意識向上と理解の促進を目指して、CSR経営の考え方の浸透を進めております。平成18年度の活動をまとめた「アヲハタグループ環境・社会報告書2007」を平成19年5月に発行いたしました。
- 次世代育成支援対策として行動計画を策定し、広島県の「仕事と家庭の両立支援企業」として登録されました。取り組みの中で、男性の育児休業取得を積極的に推進しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は126億85百万円となり、前年同四半期末に比べ3億95百万円増加しました。また、純資産は72億62百万円となり、4億42百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、たな卸資産の増加2億82百万円、機械装置及び運搬具の増加60百万円などであり、負債は前年同四半期末に比べ47百万円減少しておりますが、増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少1億91百万円、流動負債その他の減少1億50百万円、短期借入金の増加3億48百万円などであり、純資産の増加の主なものは、利益剰余金の増加4億13百万円などであり、

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第3四半期の業績を踏まえ、前回予想(平成18年12月12日開示)を一部修正いたします。

平成19年10月期の連結業績予想(平成18年11月1日～平成19年10月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	20,300	702	700	370
今回修正予想(B)	19,900	860	850	450
増減額(B)-(A)	400	158	150	80
増減率(%)	2.0	22.5	21.4	21.6

売上高につきましては産業用加工品類への積極的な事業展開を進めてまいりましたが、ジャム類の落ち込みを補うことができず、減少する見込みです。経常利益・当期純利益につきましては、ジャム類の売上高減少に伴う利益減少を、産業用加工品類・調理食品類の高付加価値品へのシフトによる収支改善、ならびにグループを挙げたコスト改善等で補い、予想を上回る見込みです。

(参考)

平成19年10月期の個別業績予想(平成18年11月1日～平成19年10月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	18,000	350	430	240
今回修正予想(B)	17,400	350	430	240
増減額(B)-(A)	600	-	-	-
増減率(%)	3.3	-	-	-

個別業績につきましては、売上高は連結と同様の理由により、減少する見込みです。経常利益・当期純利益につきましては、ジャム類の売上高減少に伴い利益は減少しましたが、経費管理の徹底等により補い、予想の修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より平成19年4月1日以後取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成18年10月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年10月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成18年10月期末)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	137,413	150,719	13,306	9.7	185,867
受取手形及び売掛金	3,679,701	3,718,363	38,661	1.1	3,506,648
たな卸資産	3,323,024	3,605,261	282,237	8.5	3,009,162
繰延税金資産	140,463	100,313	40,150	28.6	176,628
その他	142,702	126,917	15,785	11.1	86,382
貸倒引当金	20,744	21,356	612	3.0	19,945
流動資産合計	7,402,561	7,680,217	277,656	3.8	6,944,744
固定資産					
(1)有形固定資産					
建物及び構築物	2,058,826	2,087,337	28,511	1.4	2,028,467
機械装置及び運搬具	614,318	674,844	60,525	9.9	619,171
土地	1,274,662	1,324,662	50,000	3.9	1,274,662
その他	79,669	69,902	9,767	12.3	71,680
有形固定資産合計	4,027,476	4,156,746	129,269	3.2	3,993,981
(2)無形固定資産					
ソフトウェア	29,973	45,598	15,624	52.1	28,765
その他	17,630	17,543	87	0.5	17,608
無形固定資産合計	47,603	63,141	15,537	32.6	46,374
(3)投資その他の資産					
投資有価証券	449,837	460,490	10,653	2.4	448,166
繰延税金資産	233,566	198,920	34,646	14.8	221,817
その他	153,325	130,568	22,757	14.8	133,946
貸倒引当金	24,079	4,699	19,380	80.5	6,079
投資その他の資産合計	812,648	785,279	27,369	3.4	797,850
固定資産合計	4,887,729	5,005,166	117,437	2.4	4,838,206
資産合計	12,290,291	12,685,384	395,093	3.2	11,782,950

科目	前年同四半期末 (平成18年10月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年10月期 第3四半期末)	増減		(参考)前期末 (平成18年10月期末)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	2,639,060	2,447,300	191,760	7.3	2,330,420
短期借入金	1,407,170	1,755,720	348,550	24.8	1,225,720
未払法人税等	70,713	97,259	26,546	37.5	117,261
賞与引当金	138,265	137,463	802	0.6	249,122
役員賞与引当金	13,597	2,386	11,211	82.5	19,490
その他	562,123	411,840	150,283	26.7	357,758
流動負債合計	4,830,930	4,851,969	21,039	0.4	4,299,772
固定負債					
長期借入金	25,550	9,830	15,720	61.5	21,620
退職給付引当金	459,491	392,704	66,787	14.5	443,010
役員退任慰労引当金	145,984	160,163	14,178	9.7	151,687
その他	7,718	7,872	153	2.0	8,084
固定負債合計	638,744	570,570	68,174	10.7	624,402
負債合計	5,469,674	5,422,540	47,134	0.9	4,924,175
(純資産の部)					
株主資本					
資本金	644,400	644,400	0	0	644,400
資本剰余金	714,577	714,579	2	0	714,577
利益剰余金	5,272,824	5,686,579	413,754	7.8	5,314,161
自己株式	8,634	10,202	1,568	18.2	8,694
株主資本合計	6,623,167	7,035,356	412,189	6.2	6,664,443
評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額機	106,041	112,157	6,116	5.8	104,932
繰延ヘッジ損益	1,532	2,889	1,356	88.5	424
評価・換算差額 等合計	107,574	115,047	7,473	6.9	105,356
少数株主持分	89,874	112,440	22,565	25.1	88,974
純資産合計	6,820,616	7,262,844	442,228	6.5	6,858,775
負債、純資産合計	12,290,291	12,685,384	395,093	3.2	11,782,950

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成18年10月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年10月期 第3四半期)	増減		(参考)前期 (平成18年10月期)
	金額(千円)	金額(千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額(千円)
売上高	15,148,214	14,997,435	150,779	1.0	20,149,376
売上原価	12,478,140	12,482,297	4,156	0.0	16,745,816
売上総利益	2,670,073	2,515,137	154,936	5.8	3,403,559
販売費及び一般 管理費	1,894,540	1,697,245	197,294	10.4	2,540,179
営業利益	775,533	817,892	42,358	5.5	863,380
営業外収益	27,181	26,734	447	1.6	39,658
営業外費用	25,528	34,416	8,887	34.8	34,534
経常利益	777,186	810,210	33,023	4.2	868,503
特別利益	2,539	-	2,539	-	4,742
特別損失	42,870	-	42,870	-	51,615
税金等調整前四半 期(当期)純利益	736,855	810,210	73,354	10.0	821,630
法人税、住民税及 び事業税	214,790	230,029	15,239	7.1	282,771
法人税等調整額	86,132	92,487	6,354	7.4	62,523
少数株主利益	14,584	25,706	11,122	76.3	13,650
四半期(当期)純 利益	421,348	461,986	40,638	9.6	462,684